



# 坂東地域アグリ通信

令和8年4月21日  
坂東地域農業改良普及センター 発行  
Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

## 令和8年産「ゆめかおり」現地検討会を開催しました

県西地域を中心にパン用小麦「ゆめかおり」を栽培する「茨城パン小麦栽培研究会（以下、研究会）」は、きめ細かな肥培管理により、実需者ニーズに合った高品質な小麦づくりを実践しています。「ゆめかおり」の生産規模の拡大と品質維持に向け、3月13日に研究会と共催で現地検討会を開催し、生産者17名のほか、取引先の製粉会社4社および関係機関等19名の合計36名が参加しました。

普及センターより、令和8年産の生育概況や今後の管理について説明しました。続いて、県農業研究所より、赤かび病の防除方法や令和7年度の試験結果に基づく適切な防除回数や効果の高い農薬などについて、説明がありました。赤かび病については質問が多くあり、生産者の防除意識の高さが伺えました。



現地検討会の様子

その後、（株）クローバー・ファーム（境町）の現地ほ場にて、前作が水稲と畑作のほ場における生育や地下1mの土壤断面の違いを確認しました。近隣のほ場で土壤断面が大きく異なる様子が観察でき、生産者から驚きの声が挙がっていました。

製粉会社からは、「研究会の小麦の安定した品質にはいつもお世話になっている。今後もこの品質を維持したまま増産して欲しい」と期待の声を頂き、研究会員の生産意欲も高まりました。

普及センターでは、高品質安定生産を目指して、関係機関と連携し、今後も支援に取り組んでいきます。



研究会で説明を聞く参加者

## 古河市の「ニンジン」「サニーレタス」「ニガウリ」が銘柄産地に再指定 「長ナス」が新たに指定

古河市で生産されている「ニンジン」「サニーレタス」「ニガウリ」が、県の青果物銘柄産地として再指定されました。3月19日には、筑西合同庁舎において指定証の交付式が行われました。

三和地区の「ニンジン」は平成22年度から、「ニガウリ」および総和古河地区の「サニーレタス」は平成25年度から銘柄産地の指定を受けています。生産者をはじめ、JA茨城むつみや関係機関が連携し、安定した出荷体制の確立と高い品質の維持への長年の取組が評価され、今回の再指定につながりました。

交付式では、産地代表者から「再指定を受けられたのは、産地一人ひとりの生産者の高い意識があつてのこと。気候変動に対応しながら、安全・安心・安定生産をさらに徹底した産地にしていきたい」と、今後への意気込みが語られました。

また、総和古河地区で生産されている「長ナス」が、令和8年2月に新たに銘柄産地として指定され、3月25日に県庁で交付式が行われました。式では、知事から古河市の針谷市長に指定証が交付されるとともに、産地の発展に貢献した功績が認められ、JA茨城むつみおよびJA茨城むつみ総和古河地区野菜生産部会長が産地功労者として表彰されました。産地からは「認定を励みに、生産面・品質面の向上に努め、今後も出荷の拡大に取り組んでいきたい」との声が聞かれました。

普及センターでは、今後も高品質・安定生産に向け支援していきます。



銘柄産地指定証交付式（筑西合同庁舎）



銘柄産地指定交付および産地指定知事表彰（県庁）

(株)光ファーム 専務取締役 篠塚 朋子さんが  
「令和7年度農山漁村女性活躍表彰 農林水産省経営局長賞」受賞しました

「農山漁村女性活躍表彰」は、女性活躍推進のために優れた活動を行っている個人や団体の方々を表彰し、女性が農山漁村でいきいきと活躍できる環境をつくり、農林水産業の発展に寄与することを目的としています。

この度、(株)光ファーム専務取締役 篠塚朋子さんが女性優良ビジネス部門で優秀賞（農林水産省経営局長賞）を受賞され、3月3日に都内で表彰式が開催されました。

朋子さんは、会社の労務、会計関係業務、水稻の育苗管理を担っており、働きやすい環境をつくり、従業員を育成するマネージャーの役割も果たしています。

今回の受賞は、朋子さんがJGAP指導員資格を取得し、(株)光ファームの認証取得を自ら主導してきた点や独自の人事評価制度を構築し、従業員一人ひとりが考え、動き、成長する農業経営を夫と共に築いてきた点が評価されました。



農山漁村女性活躍表彰式（都内）

坂東地域農業改良普及センター 令和8年度 職員紹介

おおかわ

センター長 大川

(☆は新しく赴任した職員)

◎は新規採用職員)

経営課（広域）

経営課長 ☆すぎもと杉本（野菜）  
 専門員 えんどう 遠藤（経営及び流通）  
 専門員 ◎しみず清水（ ー ）  
 技師 くりはら栗原（果樹）  
 会計年度 ふるや古矢

地域普及第一課（坂東市・境町）

地域普及 たきざわ瀧澤（野菜）  
 第一課長 むらさき村崎（野菜）  
 専門員 いなげた稲毛田（作物）  
 主任 ぐんじ郡司（花き）  
 技師 あんの阿武（野菜）

地域普及第二課（古河市・五霞町）

地域普及 かいつか貝塚（野菜）  
 第二課長 こぐち小口（作物）  
 専門員 よねくら米倉（経営及び流通）  
 専門員 たやま田山（野菜）  
 技師 かねこ金子（野菜）

サツマイモ基腐病対策を徹底し、茨城県のサツマイモを守りましょう！

令和7年11月、茨城県において主要な農作物であるサツマイモに深刻な被害をもたらすサツマイモ基腐病が発生しました。サツマイモが本病に感染すると葉や茎が枯れたり、いもが腐敗して収穫量が大きく減少するほか、そのまま放置すると周囲のサツマイモ畑にも感染を拡げてしまいます。

茨城県ではサツマイモの安定生産を図るため、本病の基本的な対策である、病原菌を畑に「持ち込まない」、栽培期間中に病原菌を「増やさない」、収穫後に病原菌を「残さない」対策に取り組んでいるところです。まずは苗の消毒や畑のサツマイモを本病から守るためには、茨城県全体で防除対策を確実に講じる必要がありますので、排水対策等の実施をお願いします。

5月の土壌診断実施日のお知らせ

5月は、13日（水）、27日（水）の2回を予定しています。

- 個人の農家の方が対象です。
- 1回の診断で50点までの分析となります。超えた場合には次回の診断となります。
- 受け付けは前日まで可能ですが先着順となりますので、お早めにお持ちください。電話等での予約は行っていません。
- 1人あたり5点以内の持ち込みをお願いします。
- 土は乾燥させてから、持ち込みをお願いします。

編集後記

昨年度は大変お世話になりました。1年間、普及センターの活動や病害虫等について発信する機会をいただき、私自身にとっても、大変勉強になりました。

次号からは編集担当が変わりますが、本年度もよろしくお願いします。

（金子）

